

TownPaint ～落書きでつくる街～

概要

「表現したい」という気持ちは誰にでも存在する。TownPaintはスマートフォンを使い、街の至る所に落書きをすることのできるアプリケーションである。スマートフォンをスプレーで絵を描くように振ると、AR機能によって空間に描画できる。また、描いた絵は自分のギャラリーに保存するだけでなく、他の人と共有することもできる。空間に描くだけでなく、3Dで描画した特定の立体物に描くことで動きをつけることも可能にする。いつもと変わらない街が、スマートフォンを通してみることにより、彩のある遊び心あふれた街に変化する。TownPaintは日常をクリエイティブにするアプリケーションである。

背景

公園やマンションの壁などの落書きは、器物損壊罪や建造物損壊罪に当たる一方で、非常にアーティスト的な側面を持つ。それは誰もが持つ感性の一つであり、アート作品である。この落書きの在り方を変えることで街をアートなものにすることができるのではないかと考えた。

使用方法

TownPaintのアプリをスマートフォンにダウンロードする。ペン先を選択し、スマートフォンを振ることによって描画する。描画し終わったら、保存する。自分のギャラリーに保存、もしくは他のユーザとの共有のどちらかを選択する。また、スマートフォンを通して街を見るだけで自分の描いた絵や、他のユーザの絵を見ることが出来る。

ターゲット

- ・スマートフォンをよく使用する10代後半から20代後半の男女
- ・幼い子供を持つ家族



特徴

- ・様々な種類のペン先を選ぶこともでき、表現の幅が広がる。
- ・落書きを共有することもできる。スマートフォンをスクロールすることで今まで見ていた景色とは別の景色に変更することができる。
- ・現実世界には存在しない、3D描画をした特定の立体物に落書きすることでその作品に動きをつけることも可能にする。このようにすることで、自分の作品が一定の場所にとらわれず、自由に移動することが可能である。
- ・一つの作品としての描画モードとみんなで書き加えていくモードなど、何度も何パターンも街に描画することが可能である。自分が絵を描かなくても、街の着せ替えゲームのようにも遊べる。

効果

TownPaintを使うことで、誰でも気軽にクリエイティブな活動を行い、共有することが可能である。また、見慣れた街の風景をスマートフォンを通すだけでいつもと違った風景を見ることができる。

課題

落書きによる誹謗中傷、店舗などの評価をされてしまうことが挙げられる。この解決策として、文字認識の機能を使用することで、文章に誹謗中傷的な言葉が混じっていると削除を求めたり、通報できる機能も備えたい。また、センシティブな内容も、街に溶け込ませるために年齢制限を設けたり、設定により変更することができるなど、表現の自由を守り共存を目指す。